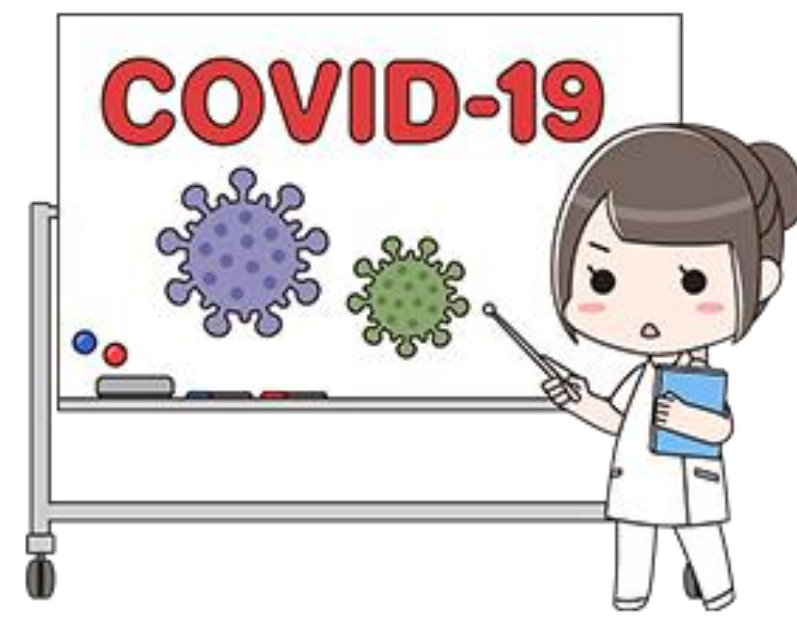




感染症特別病棟における取り組み

①感染症特別病棟の概要



☆2020年4月 新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを開始

病床確保

- ・群馬県のフェーズに合わせて病床を確保

人材確保

- ・入院する患者数に合わせて看護師の勤務体制を構築



②感染対策

☆个人防护具（PPE）の装着

- 感染症病棟への入室時は、个人防护具を装着
- 医療者の汚染を防ぐことで、患者さんへの媒介・伝播防止
- PPE装着の指導を受け、鏡を見ながら、正しく装着



☆環境整備

看護師・看護助手で協力して実施

- 各勤務帯で、ベッド周囲のよく触れる表面などをアルコールウェットシートで清拭
- 床やトイレ等の清掃には、フロア用そうじワイパーのウェットシートを使用



③安心して治療を受けられるために

連携

- ・感染制御部医師・看護師、主治医チーム医師、看護部、感染症病棟看護師、事務職員で受け入れ会議を実施

安全

安心

- ・患者さんの治療方針等を情報共有するため、主治医、感染症病棟看護師、感染制御部看護師にて定期的なカンファレンスを実施

医療と看護

- ・一般病棟と同様、安全安心な医療・看護が提供できるよう整備



④安全への取り組みの1例

特別病棟は、汚染エリアと清潔エリアにゾーニングされているため看護師同士のコミュニケーションが取りにくい

生体モニター登録の患者間違い防止のため、汚染エリアでリストバンド、モニター送信機の写真を患者カルテへ転送し、確実に登録を行う

①電話で患者名、チャンネルを伝える



②リストバンドとチャンネルが分かるよう

写真を撮り看護師2名で確認し登録する



⑤おわりに

新型コロナウイルスが蔓延し、診療体制が大きく変わりました。感染症特別病棟看護師も、今まで通りの看護が提供できるよう、環境を整えスタッフ自身も感染源にならないように日常生活や日々の業務に注意を払いながら勤務しています。

～1日でも早い終息を願っています～

感染症特別病棟スタッフ一同